

本資料のうち、枠囲みの内容は、
営業秘密又は防護上の観点から
公開できません

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	工認-498 改 1
提出年月日	平成 30 年 7 月 10 日

日本原子力発電株式会社
東海第二発電所 工事計画審査資料
放射性廃棄物の廃棄施設
気体，液体又は固体廃棄物処理設備
液体廃棄物処理系
(機器ドレン処理系)

(本文)

放射性廃棄物の廃棄施設

2 気体、液体又は固体廃棄物処理設備

2.2 液体廃棄物処理系

2.2.1 機器ドレン処理系

(2) ポンプ

- a. 廃棄物処理棟機器ドレンサンプポンプ
- b. 廃液フィルタ保持ポンプ
- c. プリコートポンプ

(4) 容器

- a. 廃液収集タンク
- b. サージタンク
- c. 凝集装置供給タンク
- d. 凝縮水サンプルタンク
- e. 廃棄物処理建屋機器ドレンサンプタンク
- f. 電磁ろ過器供給タンク
- g. 機器ドレン処理水タンク
- h. プリコートタンク
- i. 格納容器機器ドレンサンプ

(8) ろ過装置

- a. 電磁ろ過器
- b. 超ろ過器
- c. 廃液フィルタ

(9) 主要弁

(10) 主配管

2.2 液体廃棄物処理系

2.2.1 機器ドレン処理系

- (2) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力（真空ポンプにあっては到達真空度），最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料及び個数並びに原動機の種類，出力及び個数

			変 更 前	変 更 後
名 称			廃棄物処理棟 機器ドレンサンプポンプ	
ポ ン プ	種 類	—	うず巻形 ^{*1}	
	容 量	m ³ /h/個	<div></div>	(11.9 ^{*3})
	揚 程 ^{*4}	m	<div></div>	(22 ^{*3})
	最 高 使 用 圧 力	MPa	0.28 ^{*5}	
	最 高 使 用 温 度	℃	65 ^{*5}	
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm	80 ^{*2, *3}
		吐 出 内 径	mm	40 ^{*3, *6}
		コ ラ ム 外 径	mm	135 ^{*2, *3}
		高 さ	mm	3705 ^{*3, *6}
	材 料	ケ ー シ ン グ ^{*7}	—	FC25
	個 数	—	2	
原 動 機	種 類	—	誘導電動機 ^{*8}	
	出 力	kW/個	3.7	
	個 数	—	2	

変更なし

- 注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「立軸多段うず巻ポンプ」と記載。
- *2：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。
- *3：公称値を示す。
- *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全揚程」と記載。
- *5：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和49年6月4日付け49資庁第4363号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-2 液体固体廃棄物処理施設の耐震性についての計算書」のうち，「Ⅲ-2-2-1 設計条件」による。
- *6：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和49年11月12日付け建建発第120号にて届け出した工事計画の添付図面「第3-23図 ポンプ外形図 組立断面図（立軸型ポンプその1）」による。
- *7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体」と記載。
- *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「三相誘導電動機」と記載。

				変 更 前	変 更 後
名 称				廃液フィルタ保持ポンプ	
ポ ン プ	種 類	—		うず巻形*1	
	容 量	m³/h/個		<div></div>	(26.2*3)
	揚 程*4	m		<div></div>	(21.6*3)
	最 高 使 用 圧 力		MPa	1.32*5	
	最 高 使 用 温 度		℃	100*5	
	主 要 寸 法	吸 込 口 径	mm	80*3, *6	
		吐 出 口 径	mm	80*3, *6	
		た て	mm	105*3, *6	
		横	mm	525*3, *6	
		高 さ	mm	380*3, *6	
材 料	ケ ー シ ン グ*7		—	FC25	
個 数		—	2		
原 動 機	種 類	—		誘導電動機*8	
	出 力	kW/個		5.5	
	個 数	—		2	

注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「横軸単段うず巻ポンプ」と記載。

*2：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：公称値を示す。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全揚程」と記載。

*5：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年6月4日付け49資庁第4363号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-2-2 液体固体廃棄物処理施設の耐震性についての計算書」のうち、「Ⅲ-2-2-1 設計条件」による。

*6：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年6月4日付け49資庁第4363号にて認可された工事計画の添付図面「第3-27図 ポンプ外形図組立断面図（横軸型ポンプその3）」による。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体」と記載。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「三相誘導電動機」と記載。

			変 更 前	変 更 後
名 称			プリコートポンプ	
ポンプ	種 類	—	うず巻形 ^{*1}	
	容 量	m ³ /h/個	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px;"></div>	(100 ^{*3})
	揚 程 ^{*4}	m	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px;"></div>	(19.0 ^{*3})
	最 高 使 用 圧 力	MPa	0.27 ^{*2}	
	最 高 使 用 温 度	℃	65 ^{*2}	
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm	150 ^{*3, *5}
		吐 出 内 径	mm	125 ^{*3, *5}
		た て	mm	650 ^{*3, *5}
		横	mm	955 ^{*3, *5}
		高 さ	mm	750 ^{*3, *5}
	材 料	ケ ー シ ン グ ^{*6}	—	FC25
	個 数	—	2	
原 動 機	種 類	—	誘導電動機 ^{*7}	
	出 力	kW/個	11	
	個 数	—	2	

撤去

注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「横軸単段うず巻ポンプ」と記載。

*2：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：公称値を示す。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全揚程」と記載。

*5：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年6月4日付け49資庁第4363号にて認可された工事計画の添付図面「第3-28図 ポンプ外形図組立断面図（横軸型ポンプその4）」による。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「三相誘導電動機」と記載。

(4) 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数並びに漏えい防止のための制御方法

			変 更 前	変 更 後
名 称			廃液収集タンク	変更なし
種 類	—		たて置円筒形 ^{*1}	
容 量	m ³ /個		<input type="text"/> (113.5 ^{*3})	
最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭 ^{*4}	
最 高 使 用 温 度	℃		65	
主 要 寸 法	胴 内 径 ^{*5}	mm	4400 ^{*3}	
	胴 板 厚 さ ^{*6}	mm	<input type="text"/> (8 ^{*3})	
	鏡 板 厚 さ ^{*8}	mm	<input type="text"/> (10 ^{*3})	
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm	4400 ^{*3, *7} (鏡板の中央部における内面の半径)	
			440 ^{*3, *7} (すみの丸みの内半径)	
	平 板 (屋 根) 厚 さ	mm	4.5 ^{*3, *9}	
	出 口 管 台 外 径	mm	114.3 ^{*3, *7}	
	出 口 管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> (6.0 ^{*3, *7})	
	入 口 管 台 外 径 ^{*10}	mm	114.3 ^{*3, *11}	
	入 口 管 台 厚 さ ^{*10}	mm	6.0 ^{*3, *11}	
	入 口 管 台 外 径 ^{*12}	mm	89.1 ^{*3, *11}	
	入 口 管 台 厚 さ ^{*12}	mm	5.5 ^{*3, *11}	
	入 口 管 台 外 径 ^{*13}	mm	76.3 ^{*3, *11}	
	入 口 管 台 厚 さ ^{*13}	mm	5.2 ^{*3, *11}	
	入 口 管 台 外 径 ^{*14}	mm	89.1 ^{*3, *11}	
	入 口 管 台 厚 さ ^{*14}	mm	5.5 ^{*3, *11}	
	高 さ	mm	8568.5 ^{*3, *15}	
材 料	胴 板 ^{*16}	—	SM41A ^{*17}	
	鏡 板	—	SM41A ^{*17}	
個 数	—		1	
漏 え い 防 止 の た め の 制 御 方 法		—	—	

- 注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒縦形（スカート支持）」と記載。
- *2：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年11月24日付け48資庁第2852号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ 計算書および説明書」による。
- *3：公称値を示す。
- *4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「大気圧」と記載。
- *5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。
- *6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。
- *7：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年11月24日付け48資庁第2852号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-2 液体固体廃棄物処理施設の規格計算書」のうち、「Ⅲ-1-2-1 廃液収集タンク」による。
- *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚」と記載。
- *9：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年3月11日付け建建発第160号にて届け出した工事計画の添付図面「第3-1図 廃液収集タンク構造図」による。
- *10：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。管台符号は、昭和49年3月11日付け建建発第160号にて届け出した工事計画の添付図面「第3-1図 廃液収集タンク構造図 ノズル表 E」を示す。
- *11：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *12：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。管台符号は、昭和49年3月11日付け建建発第160号にて届け出した工事計画の添付図面「第3-1図 廃液収集タンク構造図 ノズル表 G」を示す。
- *13：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。管台符号は、昭和49年3月11日付け建建発第160号にて届け出した工事計画の添付図面「第3-1図 廃液収集タンク構造図 ノズル表 L」を示す。
- *14：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。管台符号は、昭和49年3月11日付け建建発第160号にて届け出した工事計画の添付図面「第3-1図 廃液収集タンク構造図 ノズル表 N」を示す。
- *15：記載の適正化を行う。既工事計画書には、胴の高さである「7700」と記載。記載内容は、昭和49年3月11日付け建建発第160号にて届け出した工事計画の添付図面「第3-1図 廃液収集タンク構造図」による。
- *16：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。
- *17：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41A 」と記載。

			変 更 前	変 更 後
名 称			サージタンク	変更なし
種 類	—		たて置円筒形 ^{*1}	
容 量	m ³ /個		<input type="text"/> (142 ^{*3})	
最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭 ^{*4}	
最 高 使 用 温 度	℃		65	
主 要 寸 法	胴 内 径 ^{*5}	mm	5000 ^{*3}	
	胴 板 厚 さ ^{*6}	mm	<input type="text"/> (8 ^{*3})	
	鏡 板 厚 さ ^{*8}	mm	<input type="text"/> (9 ^{*3})	
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm	5000 ^{*3, *7} (鏡板の中央部における内面の半径)	
			500 ^{*3, *7} (すみの丸みの内半径)	
	平 板 (屋 根) 厚 さ	mm	4.5 ^{*3, *9}	
	出 口 管 台 外 径	mm	114.3 ^{*3, *7}	
	出 口 管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> (6.0 ^{*3, *7})	
材 料	高 さ	mm	8583.5 ^{*3, *10}	
	胴 板 ^{*11}	—	SM41A ^{*12}	
	鏡 板	—	SM41A ^{*12}	
個 数		—	2	
漏 え い 防 止 の た め の 制 御 方 法		—	—	

注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒縦形（スカート支持）」と記載。

*2：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年11月24日付け48資庁第2852号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ 計算書および説明書」による。

*3：公称値を示す。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「大気圧」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

*7：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年11月24日付け48資庁第2852号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-2 液体固体廃棄物処理施設の規格計算書」のうち、「Ⅲ-1-2-2 サージタンク」による。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚」と記載。

- *9：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和49年3月11日付け建建発第160号にて届け出した工事計画の添付図面「第3-2図 サージタンク構造図」による。
- *10：記載の適正化を行う。既工事計画書には，胴の高さである「7600」と記載。記載内容は，昭和49年3月11日付け建建発第160号にて届け出した工事計画の添付図面「第3-2図 サージタンク構造図」による。
- *11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。
- *12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41A 」と記載。

			変 更 前	変 更 後
名 称			凝集装置供給タンク	
種 類	—		たて置円筒形 ^{*1}	
容 量	m ³ /個		<input type="text"/> (81.4 ^{*3})	
最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭 ^{*4}	
最 高 使 用 温 度	℃		65	
主 要 寸 法	胴 内 径 ^{*5}	mm	4900 ^{*3}	
	胴 板 厚 さ ^{*6}	mm	<input type="text"/> (9 ^{*3})	
	鏡 板 厚 さ ^{*8}	mm	<input type="text"/> (10 ^{*3})	
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm	4900 ^{*3, *7} (鏡板の中央部における内面の半径)	
			490 ^{*3, *7} (すみの丸みの内半径)	
	平 板 (屋 根) 厚 さ	mm	4.5 ^{*3, *9}	
	出 口 及 び ド レ ン 管 台 外 径	mm	60.5 ^{*3, *7}	
	出 口 及 び ド レ ン 管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> (3.9 ^{*3, *7})	
材 料	高 さ	mm	5485.5 ^{*3, *10}	
	胴 板 ^{*11}	—	SM41A ^{*12}	
	鏡 板	—	SM41A ^{*12}	
個 数		—	1	
漏 え い 防 止 の た め の 制 御 方 法		—	—	

変更なし

注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒縦形（スカート支持）」と記載。

*2：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年11月24日付け48資庁第2852号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ 計算書および説明書」による。

*3：公称値を示す。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「大気圧」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

*7：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和48年11月24日付け48資庁第2852号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-2 液体固体廃棄物処理施設の規格計算書」のうち、「Ⅲ-1-2-3 凝集装置供給タンク」による。

- *8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚」と記載。
- *9：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，昭和49年3月11日付け建建発第160号にて届け出した工事計画の添付図面「第3-4図 凝集装置供給タンク構造図」による。
- *10：記載の適正化を行う。既工事計画書には，胴の高さである「4520」と記載。記載内容は，昭和49年3月11日付け建建発第160号にて届け出した工事計画の添付図面「第3-4図 凝集装置供給タンク構造図」による。
- *11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。
- *12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41A 」と記載。

			変 更 前	変 更 後
名 称			凝縮水サンプルタンク	変更なし
種 類	—		たて置円筒形 ^{*1}	
容 量	m ³ /個		<input type="text"/> (64.2 ^{*2})	
最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭 ^{*3}	
最 高 使 用 温 度	℃		65	
主 要 寸 法	胴 内 径 ^{*4}	mm	4400 ^{*2}	
	胴 板 厚 さ ^{*5}	mm	<input type="text"/> (10 ^{*2})	
	鏡 板 厚 さ ^{*7}	mm	<input type="text"/> (13 ^{*2})	
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm	4400 ^{*2, *8} (鏡板の中央部における内面の半径)	
			440 ^{*2, *8} (すみの丸みの内半径)	
	屋 根 厚 さ	mm	6 ^{*2, *8}	
	高 さ	mm	5540 ^{*2, *9}	
材 料	胴 板 ^{*10}	—	SM41A ^{*11}	
	鏡 板	—	SM41A ^{*11}	
個 数	—		1	
漏 え い 防 止 の た め の 制 御 方 法	—		—	

注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒縦形（スカート支持）」と記載。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「大気圧」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

*6：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚」と記載。

*8：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年3月11日
付け建建発第160号にて届け出した工事計画の添付図面「第3-8図 凝縮水サンプルタンク構造図」による。

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には、胴の高さである「4300」と記載。記載内容は、昭和49年3月11日付け建建発第160号にて届け出した工事計画の添付図面
「第3-8図 凝縮水サンプルタンク構造図」による。

*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41A 」と記載。

			変 更 前	変 更 後
名 称			廃棄物処理建屋 機器ドレンサンプタンク	変更なし
種 類	—		たて置円筒形	
容 量	m ³ /個		<input type="text"/> (8.2 ^{*1})	
最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭	
最 高 使 用 温 度	℃		65	
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	1700 ^{*1}	
	胴 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> (10.0 ^{*1})	
	鏡 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> (10.0 ^{*1})	
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm	1700.0 ^{*1, *2} (鏡板の中央部における内面の半径)	
			170.0 ^{*1, *2} (すみの丸みの内半径)	
	オーバフロー入口 管 台 外 径	mm	165.2 ^{*1, *2}	
	オーバフロー入口 管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> (7.1 ^{*1, *2})	
	高 さ ^{*3}	mm	3740 ^{*1, *4}	
材 料	胴 板	—	SUS304	
	鏡 板	—	SUS304	
個 数		—	1	
漏 え い 防 止 の た め の 制 御 方 法 ^{*5}		—	液位高によるポンプ1台目 自動起動回路 液位高高によるポンプ2台目 自動起動回路	

注記 *1：公称値を示す。

*2：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和58年12月13日付け58資庁第15229号にて認可された工事計画の添付書類「V-2-2-1-1 機器ドレン処理系の強度計算書」のうち、「V-2-2-1-1-(1) 廃棄物処理建屋機器ドレンサンプタンク」による。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

- *4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には、脚からタンク上端部までの高さである「3810」と記載。記載内容は、設計図書による。
- *5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。
- *6 : 既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変 更 前	変更後
名 称			電磁ろ過器供給タンク	
種 類	—		たて置円筒形	
容 量	m ³ /個		<input type="text"/> (138* ¹)	
最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭	
最 高 使 用 温 度	℃		65	
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	5500* ¹	
	胴 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> (14.0* ¹)	
	鏡 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> (14.0* ¹)	
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm	5500.0* ¹ , * ³ (鏡板の中央部における内面の半径)	
			550.0* ¹ , * ³ (すみの丸みの内半径)	
	平 板 厚 さ	mm	9* ¹ , * ²	
	入 口 管 台 外 径	mm	114.3* ¹ , * ²	
	入 口 管 台 厚 さ	mm	6.0* ¹ , * ²	
	出 口 管 台 外 径	mm	114.3* ¹ , * ²	
	出 口 管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> (6.0* ¹ , * ³)	
	機器ドレンサンプ水入口 管 台 外 径	mm	76.3* ¹ , * ²	
	機器ドレンサンプ水入口 管 台 厚 さ	mm	5.2* ¹ , * ²	
	上澄水入口 (廃樹脂スラリ) 管 台 外 径	mm	60.5* ¹ , * ²	
	上澄水入口 (廃樹脂スラリ) 管 台 厚 さ	mm	<input type="text"/> (3.9* ¹ , * ³)	
	高 さ* ⁴	mm	6581* ¹ , * ² , * ⁵	
材 料	胴 板	—	SM41A* ⁶	
	鏡 板	—	SM41A* ⁶	

変更
なし

(続き)

		変 更 前	変更後
個 数	—	1	変更 なし
漏 え い 防 止 の た め の 制 御 方 法 ^{*7}	—	液位高による流入 ポンプ自動停止回路	

注記 *1：公称値を示す。

*2：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 58 年 12 月 13 日付け 58 資庁第 15229 号にて認可された工事計画の添付書類「V-2-2-1 液体廃棄物処理系の強度計算書」のうち、「V-2-2-1-1-(2) 電磁ろ過器供給タンク」による。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には、スカートから平板上端部までの高さである「7100」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41A（樹脂ライニング）」と記載。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

			変 更 前	変更後
名 称			機器ドレン処理水タンク	
種 類	—		たて置円筒形	
容 量	m ³ /個		□ (154* ¹)	
最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭	
最 高 使 用 温 度	℃		65	
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	5500* ¹	
	胴 板 厚 さ	mm	□ 14.0* ¹)	
	鏡 板 厚 さ	mm	□ (14.0* ¹)	
	鏡板の形状に係る寸法	mm	5500.0* ¹ , * ² (鏡板の中央部における内面の半径)	
			550.0* ¹ , * ² (すみの丸みの内半径)	
	平 板 厚 さ	mm	9* ¹ , * ³	
	処 理 水 入 口 管 台 外 径	mm	139.8* ¹ , * ³	
	処 理 水 入 口 管 台 厚 さ	mm	6.6* ¹ , * ³	
	出 口 管 台 外 径	mm	114.3* ¹ , * ³	
	出 口 管 台 厚 さ	mm	□ (6.0* ¹ , * ²)	
	高 さ* ⁴	mm	7250* ¹ , * ⁵	
材 料	胴 板	—	SUS304	
	鏡 板	—	SUS304	
個 数	—		2	
漏 え い 防 止 の た め の 制 御 方 法* ⁶		—	液位高による流入弁自動切替回路	

注記 *1: 公称値を示す。

*2: 既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 58 年 12 月 13 日付け 58 資庁第 15229 号にて認可された工事計画の添付書類「V-2-2-1-1 機器ドレン処理系の強度計算書」のうち、「V-2-2-1-1-(4) 機器ドレン処理水タンク」による。

*3: 既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

*5: 記載の適正化を行う。既工事計画書には、スカートから平板上端部までの高さである「7760」と記載。記載内容は、設計図書による。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

			変 更 前	変 更 後
名 称			プリコートタンク	撤去
種 類	—		たて置円筒形 ^{*1}	
容 量	m ³ /個		<input type="text"/> (5.3 ^{*2})	
最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭 ^{*3}	
最 高 使 用 温 度	℃		65	
主 要 寸 法	胴 内 径 ^{*4}	mm	1800 ^{*2}	
	胴 板 厚 さ ^{*5}	mm	<input type="text"/> (6 ^{*2})	
	鏡 板 厚 さ ^{*7}	mm	<input type="text"/> (6 ^{*2})	
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm	1800 ^{*2, *8} (鏡板の中央部における内面の半径)	
			180 ^{*2, *8} (鏡板隅の丸みの内半径)	
	平 板 (屋 根) 厚 さ	mm	4.5 ^{*2, *8}	
	高 さ	mm	2659.5 ^{*2, *9}	
材 料	胴 板 ^{*10}	—	SM41A ^{*11}	
	鏡 板	—	SM41A ^{*11}	
個 数	—		1	
漏 え い 防 止 の た め の 制 御 方 法	—		—	

注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒縦形（四脚支持）」と記載。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「大気圧」と記載。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

*6：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚」と記載。

*8：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年8月2日付け建建発第61号にて届け出した工事計画の添付図面「第3-6図 プリコートタンク構造図」による。

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には、胴の高さである「2300」と記載。記載内容は、昭和49年8月2日付け建建発第61号にて届け出した工事計画の添付図面「第3-6図 プリコートタンク構造図」による。

*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41A 」と記載。

				変 更 前	変 更 後
名 称				—	格納容器機器ドレンサンプ
種 類		—			たて置環状扇形
容 量		m³/個			<div></div> (0.4*)
最 高 使 用 圧 力		MPa			静水頭
最 高 使 用 温 度		℃			105
主 要 寸 法	弧 の 長 さ （ 内 側 ）		mm		2142*
	弧 の 長 さ （ 外 側 ）		mm		2344*
	幅		mm		237*
	高 さ		mm		1410*
	胴 板 厚 さ		mm		<div></div> (12.0*)
	底 板 厚 さ		mm		<div></div> (12.0*)
	平 板 厚 さ		mm		12.0*
	管 台 外 径 （ 廃 液 出 口 ）		mm		89.1*
	管 台 厚 さ （ 廃 液 出 口 ）		mm		<div></div> (5.5*)
材 料	胴 板		—		SUS304
	底 板		—		SUS304
個 数			—		1
漏 え い 防 止 の た め の 制 御 方 法			—		—

注記 *：公称値を示す。

(8) ろ過装置の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数

			変 更 前	変 更 後
名 称			電磁ろ過器	
種 類	—		たて置円筒形 ^{*1}	
容 量	m ³ /h/個		□ (20 ^{*2})	
最 高 使 用 圧 力	MPa		1.32 ^{*3}	
最 高 使 用 温 度	℃		65	
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	850 ^{*2}	
	胴 板 厚 さ	mm	□ (14.0 ^{*2})	
	鏡 板 厚 さ	mm	□ (14.0 ^{*2})	
	鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	mm	850.0 ^{*2, *4} (鏡板の中央部における内面の半径)	
			85.0 ^{*2, *4} (すみの丸みの内半径)	
	高 さ ^{*5}	mm	2674 ^{*2, *6}	
	入 口 管 台 外 径	mm	165.2 ^{*2, *4}	
	入 口 管 台 厚 さ	mm	□ (7.1 ^{*2, *4})	
	出 口 管 台 外 径	mm	165.2 ^{*2, *4}	
	出 口 管 台 厚 さ	mm	□ (7.1 ^{*2, *4})	
	胴 フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	□ (82 ^{*2, *7})	
材 料	胴 板	—	SUS304	
	鏡 板	—	SUS304	
	胴 フ ラ ン ジ	—	SUS304 ^{*4}	
個 数	—		2	

変更なし

注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「固定床式」と記載。

*2：公称値を示す。

*3：S I 単位に換算したもの。

*4：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 58 年 12 月 13 日付け 58 資庁第 15229 号にて認可された工事計画の添付書類「V-2-2-1-1 機器ドレン処理系の強度計算書」のうち、「V-2-2-1-1-(6) 電磁ろ過器」による。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

- *6：記載の適正化を行う。既工事計画書には，ベースプレートから入口管台上端部までの高さである「3470」と記載。記載内容は，設計図書による。
- *7：既工事計画書に記載がないため，記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

			変 更 前	変 更 後
名 称			超ろ過器	
種 類	—		円筒形膜式	
容 量	m³/h/個		<div></div> (6.7*1)	
最 高 使 用 圧 力	MPa		0.49*2, *3	
最 高 使 用 温 度	℃		65*2	
主 要 寸 法	外 筒 内 径 *4	mm	32.8*1	
	外 筒 厚 さ	mm	<div></div> (1.2*1)	
	全 長	mm	3550*1, *5	
	入 口 管 台 外 径	mm	34.0*1, *2	
	入 口 管 台 厚 さ	mm	<div></div> (4.5*1, *2)	
	出 口 管 台 外 径 *6	mm	34.0*1, *2	
	出 口 管 台 厚 さ *6	mm	<div></div> (4.5*1, *2)	
	出 口 管 台 外 径 *7	mm	76.3*1, *2	
	出 口 管 台 厚 さ *7	mm	<div></div> (5.2*1, *2)	
	フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	<div></div> (18*1, *2)	
材 料	外 筒	—	SUS304TP*8	
個 数	—		6*9	

注記 *1：公称値を示す。

*2：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：S I 単位に換算したもの。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「外筒外径 直管部 34.0」と記載。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には、外筒Uーベント端部の全長である「2993」と記載。記載内容は、設計図書による。

*6：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書「超ろ過器収納ラック構造図 ノズル表 B」による。

*7：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書「超ろ過器収納ラック構造図 ノズル表 C」による。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には、材料「外筒；SUS304TP, SUS304 ろ過膜；」と記載。

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には、個数「6（ろ過膜 320 本/個）」と記載。

			変 更 前	変 更 後
名 称			廃液フィルタ	
種 類	—		たて置円筒形*1	
容 量*2	m ³ /h/個		[] (50*2, *3)	
最 高 使 用 圧 力	MPa		1.32*4	
最 高 使 用 温 度	℃		90	
主 要 寸 法	胴 内 径*5	mm	1100*3	
	胴 板 厚 さ*6	mm	[] (14*3)	
	鏡 板 厚 さ*8	mm	[] (14*3)	
	鏡 板 の 形 状 法 に 係 る 寸 法	mm	1100*3, *7 (鏡板の内面における長径)	
			275*3, *7 (鏡板の内面における 短径の2分の1)	
	フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	[] (50*3, *7)	
	水 入 口 管 台 外 径	mm	216.3*3, *7	
	水 入 口 管 台 厚 さ	mm	[] (8.2*3, *7)	
	水 出 口 管 台 外 径	mm	139.8*3, *7	
	水 出 口 管 台 厚 さ	mm	[] (6.6*3, *7)	
材 料	高 さ	mm	3584*3	
	胴 板*9	—	SM41A*10	
個 数	鏡 板	—	SM41A*10	
		—	2	

撤去

注記 *1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「円筒縦形圧力プリコート式（四脚支持）」と記載。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「処理流量（最大） 50m³/h（68.1m³/h）」と記載。

*3：公称値を示す。

*4：S I 単位に換算したもの。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚」と記載。

*7：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和49年6月4日付け49資庁第4363号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅲ-1-2 液体固体廃棄物処理施設の規格計算書」のうち、「Ⅲ-1-2-1 廃液フィルタおよび床ドレンフィルタ」による。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「鏡板厚」と記載。

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴」と記載。

*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41A 」と記載。

- (9) 主要弁の名称，種類，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，駆動方法，個数及び取付箇所

			変 更 前*1	変 更 後
名 称			G13-F132	変更なし
種 類	—		止め弁	
最 高 使 用 圧 力	MPa		0.28	
最 高 使 用 温 度	℃		80	
主 要 寸 法	呼 び 径	—	80 A	
	弁 箱 厚 さ	mm		
	弁 ふ た 厚 さ	mm		
材 料	弁 箱	—		
	弁 ふ た	—		
駆 動 方 法			空気作動	
個 数			1	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	G13-F132 機器ドレン処理系	
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 2.00 m	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	RB-B1-8
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		EL. 5.63 m 以上

注記 *1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

			変 更 前*1	変 更 後
名 称			G13-F133	変更なし
種 類	—		止め弁	
最 高 使 用 圧 力	MPa		0.28	
最 高 使 用 温 度	℃		80	
主 要 寸 法	呼 び 径	—	80 A	
	弁 箱 厚 さ	mm		
	弁 ふ た 厚 さ	mm		
材 料	弁 箱	—		
	弁 ふ た	—		
駆 動 方 法			空気作動	
個 数			1	
取 付 箇 所	系 統 名 (ラ イ ン 名)	—	G13-F133 機器ドレン処理系	
	設 置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 2.00 m	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	RB-B1-8
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		EL. 5.63 m 以上

注記 *1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

(10) 主配管の名称，最高使用圧力，最高使用温度，外径，厚さ及び材料

変 更 前							変 更 後									
名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径* ¹ (mm)	厚さ (mm)	材 料	名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径* ¹ (mm)	厚さ (mm)	材 料			
機 器 ド レ ン 処 理 系	* ² 格納容器機器ドレンサンプ ～ 格納容器機器ドレンサンプ 出口配管分岐点						変更なし									
	* ² 格納容器機器ドレンサンプ 出口配管分岐点 ～ 格納容器機器ドレン サンプスリット						0.52* ³		105		89.1			7.6* ¹	SUS316TP	
											89.1		7.6* ¹			SUS316TP
	* ² 格納容器機器ドレン サンプスリット ～ 格納容器機器ドレン 配管分岐点						0.52* ³		105		89.1* ²⁶		5.5* ¹ , * ²⁶	SUS304TP* ²⁶		
											89.1		7.6* ¹ , * ⁶		SUS316TP	
											—					
	* ² 格納容器機器ドレン 配管分岐点 ～ 原子炉格納容器						0.52* ³		105		89.1		7.6* ¹	SUS316TP		
	* ² 原子炉格納容器 ～ 弁 G13-F132						0.52* ³		105		89.1* ⁸ , * ⁹		7.6* ¹ , * ⁸ , * ⁹	STPT42* ⁸ , * ⁹		
											89.1		7.6* ¹ , * ⁶		SUS316TP	
	* ² 弁 G13-F132 ～ 原子炉棟機器ドレンサンプ						0.27* ³		79		89.1		5.5* ¹	STPT42		
											89.1		5.5* ¹		STPT410	
	* ¹⁰ 原子炉棟機器ドレン サンプポンプ ～ 廃液収集タンク						1.03* ³		65		76.3		5.2* ¹	STPT42		
											89.1		5.5* ¹		STPT42	
											114.3		6.0* ¹		STPT42	
114.3											6.0* ¹		STPT410			
							機 器 ド レ ン 処 理 系									

(続き)

変 更 前							変 更 後												
名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径* ¹ (mm)	厚さ (mm)	材 料	名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料						
機 器 ド レ ン 処 理 系	タービン建屋機器ドレン サンプポンプ ～ 廃液収集タンク	1.03* ³	65	76.3	5.2* ¹	STPT42	機 器 ド レ ン 処 理 系	変更なし											
				89.1	5.5* ¹	STPT42													
				114.3	6.0* ¹	STPT42													
	廃棄物処理棟機器ドレン サンプポンプ ～ 廃液収集タンク	1.03* ³	65	48.6	5.1* ¹	STPT42		変更なし											
				76.3	5.2* ¹	STPT42													
	廃液収集タンク ～ 廃液収集ポンプ	1.03* ³	65	114.3	6.0* ¹	STPT42		変更なし											
	廃液収集ポンプ ～ 廃液収集ポンプ吐出管合流点	1.42* ³	65	114.3	6.0* ¹	STPT42								変更なし					
				114.3* ²⁶	6.0* ¹ , * ²⁶	STPT410* ²⁶													
		1.32* ³	90	114.3	6.0* ¹	STPT42		撤去											
				139.8	6.6* ¹	STPT42													
	サージタンク A ～ サージポンプ A	1.03* ³	65	114.3	6.0* ¹	STPT42		変更なし											

(続き)

変 更 前							変 更 後							
名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径* ¹ (mm)	厚さ (mm)	材 料	名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料	
機器 ドレ ン 処 理 系	サージポンプ A ～ 廃液収集ポンプ吐出管	1.42* ³	65	114.3	6.0* ¹	STPT42	機器 ドレ ン 処 理 系	変更なし						
	サージタンク B ～ サージポンプ B	1.03* ³	65	114.3	6.0* ¹	STPT42		変更なし						
	サージポンプ B ～ 床ドレン収集ポンプ吐出管	1.42* ³	65	114.3	6.0* ¹	STPT42		変更なし						
				114.3	6.0* ¹	STPT410								
	* ¹⁴ 廃液脱塩器入口管 ～ 廃液脱塩器	1.32* ³	90	139.8	5.0* ¹	SUS304TP		撤去						
				114.3	4.0* ¹	SUS304TP								
	* ¹⁵ 廃液脱塩器入口管合流点 ～ 床ドレン収集ポンプ吐出管 合流点	1.32* ³	90	114.3	4.0* ¹	SUS304TP		変更なし	撤去					
			65	114.3	4.0* ¹	SUS304TP								
* ¹⁶ 廃液脱塩器 ～ 廃液サンプルタンク	1.32* ³	65	114.3	4.0* ¹	SUS304TP	変更なし								
	1.03* ³	65	114.3	4.0* ¹	SUS304TP									
* ¹⁷ 廃液サンプルタンク ～ 廃液サンプルポンプ		1.03* ³	65	114.3	4.0* ¹	SUS304TP	変更なし							

(続き)

変 更 前							変 更 後																				
名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材 料	名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料														
機器 ドレン 処理系	廃液サンプルポンプ ～ 放射性廃棄物処理系配管取合点 (補給水系)	1.03*3	65	114.3	4.0*1	SUS304TP	変更なし																				
	凝縮水収集タンク ～ 凝縮水収集ポンプ	1.03*3	65	114.3	4.0*1	SUS304TP								変更なし													
	凝縮水収集ポンプ ～ 廃液収集ポンプ吐出管合流点	1.07*3	65	114.3	4.0*1	SUS304TP															変更なし						
		1.42*3	65	114.3	6.0*1	STPT42																					
	114.3*26			6.0*1, *26	STPT410*26	変更なし																					
	凝集装置供給タンク ～ 凝集装置供給ポンプ	1.03*3	65	60.5	5.5*1								STPT42	変更なし													
				60.5	5.5*1								STPT410								変更なし						
	凝集装置供給ポンプ ～ 凝集沈澱装置	1.07*3	65	60.5	5.5*1								STPT42	変更なし													
		1.03*3	65	60.5	5.5*1	STPT42	変更なし																				
				48.6	5.1*1	STPT42																					
				48.6	3.7*1	SUS304TP															変更なし						

(続き)

変 更 前							変 更 後												
名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材 料	名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料						
機器ドレン処理系	凝集沈澱装置 ～ 廃液収集タンク	1.03*3	65	89.1	4.0*1	SUS304TP	機器ドレン処理系	変更なし											
				89.1	5.5*1	STPT42													
				89.1	5.5*1	STPT410													
	*19 廃液収集ポンプ吐出管合流点 ～ 電磁ろ過器供給タンク入口管	1.32*3	90	114.3	6.0*1	STPT42		変更なし	撤去										
			65	114.3	6.0*1	STPT42									変更なし				
		—							1.42*3, *26	65*26	114.3*26	6.0*1, *26	STPT410*26						
	電磁ろ過器供給タンク入口管 分岐点 ～ 廃液フィルタ B 入口管	1.32*3	90	114.3	6.0*1	STPT42		撤去											
	廃棄物処理建屋機器ドレン サンプポンプ A ～ 電磁ろ過器供給タンク	1.03*3	65	60.5	5.5*1	STPT42								変更なし					
				48.6	5.1*1	STPT42													
				76.3	5.2*1	STPT42													
				76.3	5.2*1	SUS304TP													
	廃棄物処理建屋機器ドレン サンプポンプ B ～ 廃棄物処理建屋機器ドレン サンプポンプ A 出口管合流点	1.03*3	65	60.5	5.5*1	STPT42		変更なし											
				48.6	5.1*1	STPT42													
	*25 弁 NR24-F007A ～ 電磁ろ過器供給タンク	1.32*3	65	60.5	3.9*1	SUS316TP		変更なし											
		静水頭	65	60.5	3.9*1	SUS316TP													
	*21 弁 NR24-F007B ～ 使用済樹脂貯蔵タンク B デカント水出口管合流点	1.32*3	65	60.5	3.9*1	SUS316TP		変更なし											

(続き)

変 更 前							変 更 後						
名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材 料	名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料
機器ドレン処理系	電磁ろ過器供給タンク ～ 機器ドレン樹脂分離器 A	静水頭	65	114.3	6.0*1	SUS304TP	機器ドレン処理系	変更なし					
				114.3	6.0*1	STPT42							
				89.1	5.5*1	STPT42							
				76.3	5.2*1	STPT42							
		1.32*3	65	48.6	5.1*1	STPT42							
				76.3	5.2*1	STPT42							
	機器ドレン樹脂分離器 A ～ 電磁ろ過器 A	1.32*3	65	48.6	5.1*1	STPT42		変更なし					
				76.3	5.2*1	STPT42							
				165.2	7.1*1	STPT42							
	電磁ろ過器供給タンク出口管 分岐点 ～ 機器ドレン樹脂分離器 B	静水頭	65	89.1	5.5*1	STPT42		変更なし					
				76.3	5.2*1	STPT42							
		1.32*3	65	48.6	5.1*1	STPT42							
				76.3	5.2*1	STPT42							
	機器ドレン樹脂分離器 B ～ 電磁ろ過器 B	1.32*3	65	48.6	5.1*1	STPT42		変更なし					
				76.3	5.2*1	STPT42							
				165.2	7.1*1	STPT42							
	電磁ろ過器 A ～ 超ろ過器供給タンク	1.32*3	65	165.2	7.1*1	SUS304TP		変更なし					
				165.2	7.1*1	STPT42							
				60.5	5.5*1	STPT42							
				76.3	5.2*1	STPT42							
				89.1	5.5*1	STPT42							
	電磁ろ過器 B ～ 電磁ろ過器 A 出口管合流点	1.32*3	65	165.2	7.1*1	SUS304TP		変更なし					
				165.2	7.1*1	STPT42							
				60.5	5.5*1	STPT42							
				76.3	5.2*1	STPT42							

(続き)

変 更 前							変 更 後						
名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材 料	名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料
機器ドレン 処理系	超ろ過器供給タンク ～ 超ろ過器 A	静水頭	65	355.6	11.1*1	SUS304TP	機器ドレン 処理系	変更なし					
				355.6	11.1*1	STPT42							
				318.5	10.3*1	STPT42							
				216.3	8.2*1	STPT42							
				139.8	6.6*1	STPT42							
		1.32*3	65	89.1	5.5*1	STPT42							
				139.8	6.6*1	STPT42							
		0.49*3	65	139.8	6.6*1	STPT42							
				508.0	<div></div> (9.0*1)	SM41A							
				34.0	4.5*1	STPT42							
	超ろ過器供給ポンプ A 入口管 分岐点 ～ 超ろ過器 B	静水頭	65	139.8	6.6*1	STPT42		変更なし					
		1.32*3	65	89.1	5.5*1	STPT42							
				139.8	6.6*1	STPT42							
		0.49*3	65	139.8	6.6*1	STPT42							
				508.0	<div></div> (9.0*1)	SM41A							
				34.0	4.5*1	STPT42							
	超ろ過器供給ポンプ A 入口管 分岐点 ～ 超ろ過器 C	静水頭	65	139.8	6.6*1	STPT42		変更なし					
		1.32*3	65	89.1	5.5*1	STPT42							
				139.8	6.6*1	STPT42							
		0.49*3	65	139.8	6.6*1	STPT42							
				508.0	<div></div> (9.0*1)	SM41A							
				34.0	4.5*1	STPT42							

(続き)

変 更 前							変 更 後																		
名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材 料	名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料												
機器ドレン処理系	超ろ過器供給ポンプ A 入口管 分岐点 ～ 超ろ過器 D	静水頭	65	267.4	9.3*1	STPT42	機器ドレン処理系	変更なし																	
				139.8	6.6*1	STPT42																			
		1.32*3	65	89.1	5.5*1	STPT42								変更なし											
				139.8	6.6*1	STPT42																			
		0.49*3	65	139.8	6.6*1	STPT42														変更なし					
				508.0	<div></div> (9.0*1)	SM41A																			
				34.0	4.5*1	STPT42																			
	超ろ過器供給ポンプ D 入口管 分岐点 ～ 超ろ過器 E	静水頭	65	267.4	9.3*1	STPT42		変更なし																	
				139.8	6.6*1	STPT42																			
		1.32*3	65	89.1	5.5*1	STPT42								変更なし											
				139.8	6.6*1	STPT42																			
		0.49*3	65	139.8	6.6*1	STPT42														変更なし					
				508.0	<div></div> (9.0*1)	SM41A																			
				34.0	4.5*1	STPT42																			
	超ろ過器供給ポンプ E 入口管 分岐点 ～ 超ろ過器 F	静水頭	65	139.8	6.6*1	STPT42		変更なし																	
				1.32*3	65	89.1																			
		139.8	6.6*1			STPT42								変更なし											
		0.49*3	65	139.8	6.6*1	STPT42																			
				508.0	<div></div> (9.0*1)	SM41A																			
		34.0	4.5*1	STPT42																					
	超ろ過器 A ～ 超ろ過器供給タンク	0.49*3	65	34.0	4.5*1	STPT42		変更なし																	
				89.1	5.5*1	STPT42																			
139.8				6.6*1	STPT42																				
165.2				7.1*1	STPT42																				

(続き)

変 更 前							変 更 後												
名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材 料	名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料						
機 器 ド レ ン 処 理 系	超ろ過器 B ～ 超ろ過器供給タンク	0.49*3	65	34.0	4.5*1	STPT42	機 器 ド レ ン 処 理 系	変更なし											
				89.1	5.5*1	STPT42													
				139.8	6.6*1	STPT42								変更なし					
				165.2	7.1*1	STPT42													
	超ろ過器 C ～ 超ろ過器供給タンク	0.49*3	65	34.0	4.5*1	STPT42		変更なし											
				89.1	5.5*1	STPT42													
				139.8	6.6*1	STPT42													
				165.2	7.1*1	STPT42													
	超ろ過器 D ～ 超ろ過器供給タンク	0.49*3	65	34.0	4.5*1	STPT42		変更なし											
				89.1	5.5*1	STPT42													
				139.8	6.6*1	STPT42													
				165.2	7.1*1	STPT42													
	超ろ過器 E ～ 超ろ過器供給タンク	0.49*3	65	34.0	4.5*1	STPT42		変更なし											
				89.1	5.5*1	STPT42													
				139.8	6.6*1	STPT42													
				165.2	7.1*1	STPT42													
	超ろ過器 F ～ 超ろ過器供給タンク	0.49*3	65	34.0	4.5*1	STPT42		変更なし											
				89.1	5.5*1	STPT42													
				139.8	6.6*1	STPT42													
				165.2	7.1*1	STPT42													
	超ろ過器 A ～ 超ろ過器出口集合管	静水頭	65	76.3	5.2*1	SUS304TP		変更なし											
				139.8	6.6*1	SUS304TP													
	超ろ過器 B ～ 超ろ過器出口集合管	静水頭	65	76.3	5.2*1	SUS304TP		変更なし											
				139.8	6.6*1	SUS304TP													
	超ろ過器 C ～ 超ろ過器出口集合管	静水頭	65	76.3	5.2*1	SUS304TP		変更なし											
				139.8	6.6*1	SUS304TP													

(続き)

変 更 前							変 更 後						
名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材 料	名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料
機 器 ド レ ン 処 理 系	超ろ過器 D ～ 超ろ過器出口集合管		静水頭	65	76.3	5.2*1	SUS304TP	機 器 ド レ ン 処 理 系	変更なし				
					139.8	6.6*1	SUS304TP						
	超ろ過器 E ～ 超ろ過器出口集合管		静水頭	65	76.3	5.2*1	SUS304TP		変更なし				
					139.8	6.6*1	SUS304TP						
	超ろ過器 F ～ 超ろ過器出口集合管		静水頭	65	76.3	5.2*1	SUS304TP		変更なし				
					139.8	6.6*1	SUS304TP						
	超ろ過器出口集合管 ～ 機器ドレン処理水タンク A		静水頭	65	216.3	8.2*1	SUS304TP		変更なし				
					139.8	6.6*1	SUS304TP						
	弁 NR21-F021 ～ 機器ドレン処理水タンク B		静水頭	65	139.8	6.6*1	SUS304TP		変更なし				
	機器ドレン処理水タンク A ～ 廃液脱塩器入口管合流点		静水頭	65	114.3	6.0*1	SUS304TP		変更なし		変更なし		
					89.1	5.5*1	SUS304TP						
			1.32*3	65	60.5	3.9*1	SUS304TP				撤去		
					114.3	6.0*1	SUS304TP						
				90	114.3	6.0*1	SUS304TP						
	廃液フィルタ B 出口管 ～ 機器ドレン処理水ポンプ出口管 合流点		1.32*3	90	114.3	6.0*1	SUS304TP		撤去				
	機器ドレン処理水タンク B ～ 機器ドレン処理水タンク A 出口管合流点		静水頭	65	114.3	6.0*1	SUS304TP						
					89.1	5.5*1	SUS304TP						
			1.32*3	65	60.5	3.9*1	SUS304TP						
114.3					6.0*1	SUS304TP							

(続き)

変 更 前							変 更 後						
名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径* ¹ (mm)	厚さ (mm)	材 料	名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料
機器ドレン処理系	機器ドレン樹脂分離器 A ～ 使用済樹脂貯蔵タンク B	1.32* ³	65	60.5	3.9* ¹	SUS304TP	機器ドレン処理系	変更なし					
	機器ドレン樹脂分離器 B ～ 機器ドレン樹脂分離器 A 出口管合流点	1.32* ³	65	60.5	3.9* ¹	SUS304TP		変更なし					
	使用済樹脂貯蔵タンク B 入口管分岐点 ～ 使用済樹脂貯蔵タンク C (機器ドレン樹脂分離器側)	1.32* ³	65	60.5	3.9* ¹	SUS304TP		変更なし					
	電磁ろ過器 A 入口管分岐点 ～ クラッドスラリタンク A	1.32* ³	65	165.2	7.1* ¹	STPT42		変更なし					
	電磁ろ過器 B 入口管分岐点 ～ クラッドスラリタンク A 入口管合流点	1.32* ³	65	165.2	7.1* ¹	STPT42		変更なし					
	クラッドスラリタンク A 入口管分岐点 ～ クラッドスラリタンク B (電磁ろ過器側)	1.32* ³	65	165.2	7.1* ¹	STPT42		変更なし					
	超ろ過器供給タンク出口管 分岐点 ～ クラッドスラリタンク A 入口管合流点	静水頭	65	60.5	5.5* ¹	STPT42		変更なし					
		1.32* ³	65	60.5	5.5* ¹	STPT42							

(続き)

変 更 前							変 更 後												
名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材 料	名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料						
機 器 ド レ ン 処 理 系	超ろ過器供給ポンプ A 入口管分岐点 ～ 電磁ろ過器 A 入口管合流点	静水頭	65	114.3	6.0*1	STPT42	機 器 ド レ ン 処 理 系	変更なし											
				89.1	5.5*1	STPT42													
		1.32*3	65	60.5	5.5*1	STPT42								変更なし					
				89.1	5.5*1	STPT42													
				76.3	5.2*1	STPT42													
	電磁ろ過器循環供給ポンプ 出口管分岐点 ～ 電磁ろ過器 B 入口管合流点	1.32*3	65	89.1	5.5*1	STPT42		変更なし											
				76.3	5.2*1	STPT42													
	クラッドスラリタンク A ～ クラッドスラリ上澄水受タンク	静水頭	65	60.5	3.9*1	SUS316LTP		変更なし											
	クラッドスラリタンク B ～ クラッドスラリタンク A 出口管合流点	静水頭	65	60.5	3.9*1	SUS316LTP								変更なし					
	クラッドスラリ上澄水受タンク ～ クラッドスラリ濃縮器加熱器	静水頭	65	89.1	5.5*1	SUS304TP													
				65	60.5	3.9*1		SUS304TP											
		76.3	5.2*1		SUS304TP														
		21.7	2.8*1		SUS304TP														
		120	21.7		2.8*1	SUS316LTP													
			60.5	3.9*1	SUS316LTP														
			165.2	7.1*1	SUS316LTP														
			139.8	6.6*1	SUS316LTP														
	クラッドスラリ濃縮器加熱器 ～ クラッドスラリ濃縮器	0.49*3	120	114.3	6.0*1	SUS316LTP		変更なし											
	クラッドスラリ濃縮器 ～ クラッドスラリ濃縮器デミスタ	0.49*3	120	139.8	6.6*1	SUS316LTP								変更なし					

(続き)

変 更 前							変 更 後						
名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材 料	名 称		最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料
機器 ドレン 処理系	クラッドスラリ濃縮器デミスタ ～ クラッドスラリ濃縮器復水器	0.49*3	120	139.8	6.6*1	SUS316LTP	機器 ドレン 処理系	変更なし					
				139.8	6.6*1	SUS304TP							
	クラッドスラリ濃縮器復水器 ～ 機器ドレン処理水タンク A 入口管合流点	静水頭	65	27.2	2.9*1	SUS304TP		変更なし					
				60.5	3.9*1	SUS304TP							
	クラッドスラリ濃縮器 ～ クラッドスラリ濃縮器循環 ポンプ入口管合流点	0.49*3	120	165.2	7.1*1	SUS316LTP		変更なし					
	クラッドスラリ濃縮器 循環ポンプ入口管分岐点 ～ クラッドスラリタンク A	0.49*3	120	60.5	3.9*1	SUS316LTP		変更なし					
クラッドスラリタンク A 入口管分岐点 ～ クラッドスラリタンク B (クラッドスラリ濃縮器側)	0.49*3	120	60.5	3.9*1	SUS316LTP	変更なし							

注記 *1：公称値を示す。
*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「格納容器機器ドレンサンプ排出管（格納容器機器ドレンサンプから原子炉棟機器ドレンサンプまで）」と記載。
*3：S I 単位に換算したもの。
*4：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備（ペDESTAL排水系）と兼用する。
*5：重大事故等時における使用時の値を示す。
*6：エルボにあっては、管と同等以上の厚さのものを選定。
*7：本設備は既存の設備である。
*8：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 51 年 11 月 12 日付け 51 資庁第 12241 号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅳ-1-5 液体固体廃棄物処理系配管の規格計算書」のうち、「Ⅲ-1-3-5 配管」による。
*9：エルボを示す。
*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉棟機器ドレンサンプポンプ“A” “B” “C” “D”吐出管（原子炉棟機器ドレンサンプポンプ“A” “B” “C” “D”より廃液収集タンクまで）」と記載。
*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋機器ドレンサンプポンプ“A” “B” “C” “D”吐出管（タービン建屋機器ドレンサンプポンプ“A” “B” “C” “D”より廃液収集タンクまで）」と記載。
*12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃棄物処理棟機器ドレンサンプポンプ吐出管（機器ドレンサンプポンプ“A” “B”より廃液収集タンクまで）」と記載。
*13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃液収集ポンプ吐出管（廃液収集ポンプより廃液フィルタ“A” “B”まで）」と記載。
*14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃液フィルタ“A” “B”より廃液脱塩器まで」と記載。
*15：記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃液フィルタ“B”出口管より床ドレンフィルタ出口管まで」と記載。
*16：記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃液脱塩器より廃液サンプルタンク“A” “B”まで」と記載。

- ＊17：記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃液サンプルポンプ”A” ”B”吸込管（廃液サンプルタンク”A” ”B”より廃液サンプルポンプ”A” ”B”まで）」と記載。
- ＊18：記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃液サンプルポンプ”A” ”B”吐出管（廃液サンプルポンプ”A” ”B”より復水貯蔵タンクまで）」と記載。
- ＊19：記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃液収集ポンプ出口分岐管より電磁ろ過器供給タンクまで」と記載。
- ＊20：記載の適正化を行う。既工事計画書には「使用済樹脂貯蔵タンク（B）デカント水出口第1元弁より電磁ろ過器供給タンクまで」と記載。
- ＊21：記載の適正化を行う。既工事計画書には「使用済樹脂貯蔵タンク（C）デカント水出口第1元弁より使用済樹脂貯蔵タンク（B）デカント水出口管合流点まで」と記載。
- ＊22：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、昭和58年12月13日付け58資庁第15229号にて認可された工事計画の添付書類「V-2-2-1-1 機器ドレン処理系の強度計算書」のうち、「V-2-2-1-1-（12）主配管」による。
- ＊23：記載の適正化を行う。既工事計画書には「機器ドレン処理水タンク（A）入口管三方弁より機器ドレン処理水タンク（B）まで」と記載。
- ＊24：記載の適正化を行う。既工事計画書には「機器ドレン処理水タンク（A）より廃液脱塩器入口管まで」と記載。
- ＊25：記載の適正化を行う。既工事計画書には「凝縮水収集ポンプ吐出管（凝縮水収集ポンプより廃液収集ポンプ吐出管まで）」と記載。
- ＊26：既工事計画書に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (1／30)

			変 更 前					変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 廃棄物貯蔵設備 液体又は固体	固体廃棄物貯蔵系	ポンプ	使用済粉末樹脂ポンプ	B	Non	—		変更なし			—	—
			使用済粉末樹脂デカントポンプ	B	Non	—		変更なし			—	—
		容器	使用済樹脂貯蔵タンク	B－1	クラス3	—		変更なし			—	—
			クラッドスラリタンク	B－1	クラス3	—		変更なし			—	—
			使用済粉末樹脂貯蔵タンク	B－1	クラス3	—		変更なし			—	—

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (2/30)

		変 更 前				変 更 後						
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体、液体又は固体廃棄物処理設備	—	熱交換器	排ガス復水器	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
			排ガス前置除湿器	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
			再生ガス加熱器	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
		容器	排ガス再結合器	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
		ろ過装置	排ガス気水分離器	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
			排ガス前置フィルタ	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
			気水分離器	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
			排ガス後置除湿器	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
			排ガスメッシュフィルタ	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
			排ガス活性炭ベッド	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
			再生ガスメッシュフィルタ	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
			再生ガス気水分離器	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
			再生ガス油分離器	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
			排ガスフィルタ	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
		主配管	排ガス空気抽出器	B－1	クラス3	—		変更なし	—		—	—
			排ガス消音器	B－1	クラス3	—		— *2	—		—	—

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (3／30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	気体廃棄物処理系	－	主配管	再生ガス消音器	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				主蒸気式空気抽出器出口弁 ～ 排ガス予熱器	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				排ガス予熱器 ～ 排ガス再結合器	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				排ガス再結合器 ～ 排ガス復水器	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				排ガス復水器 ～ 排ガス気水分離器	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				排ガス気水分離器 ～ 排ガス前置フィルタ （排ガス減衰管を除く）	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				排ガス減衰管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				排ガス前置フィルタ ～ 排ガス後置フィルタ （排ガス前置除湿器，気水分離器， 排ガス後置除湿器，排ガスメッシュ フィルタ及び排ガス活性炭ベッド経 由）	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				排ガス後置フィルタ ～ 排気筒（屋外配管を除く）	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃棄物処理棟 ～ 排気筒	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (4/30)

			変 更 前					変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	気体廃棄物処理系	－	主配管	排ガス後置除湿器 ～ 再生ガスブロワ	B－1	クラス3	－	変更なし			－	－
				再生ガスブロワ ～ 排ガス後置除湿器	B－1	クラス3	－	変更なし			－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (5/30)

			変 更 前					変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	液体廃棄物処理系	ポンプ	廃棄物処理棟 機器ドレンサンプポンプ	B－1	Non	－		変更なし	－		－	－
			廃液フィルタ保持ポンプ	B	Non	－		撤去	－		－	－
			プリコートポンプ	C	Non	－		撤去	－		－	－
		容器	廃液収集タンク	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	－
			サージタンク	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	－
			凝集装置供給タンク	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	－
			凝縮水サンプルタンク	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	－
			廃棄物処理建屋 機器ドレンサンプタンク	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	－
			電磁ろ過器供給タンク	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	－
			機器ドレン処理水タンク	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	－
			プリコートタンク	C	クラス3	－		撤去	－		－	－
			－					格納容器機器ドレンサンプ	S	クラス3	－	－
		ろ過装置	電磁ろ過器	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	－
			超ろ過器	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	－
			廃液フィルタ	B	クラス3	－		撤去	－		－	－
		主要弁	G13-F132	S	クラス2	－		変更なし	－		－	－
			G13-F133	S	クラス2	－		変更なし	－		－	－
		主配管	格納容器機器ドレンサンプ ～ 格納容器機器ドレンサンプ 出口配管分岐点	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	－
			格納容器機器ドレンサンプ 出口配管分岐点 ～ 格納容器機器ドレンサンプスリット	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	－
			格納容器機器ドレンサンプスリット ～ 格納容器機器ドレン配管分岐点	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (6/30)

				変 更 前			変 更 後					
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	液体廃棄物処理系	機器ドレン処理系	主配管	格納容器機器ドレン配管分岐点 ～ 原子炉格納容器	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				原子炉格納容器 ～ 弁G13-F132	S	クラス2	－	変更なし	－	－	－	－
				弁G13-F132 ～ 原子炉棟機器ドレンサンプ	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				原子炉棟機器ドレンサンプポンプ ～ 廃液収集タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				タービン建屋 機器ドレンサンプポンプ ～ 廃液収集タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃棄物処理棟 機器ドレンサンプポンプ ～ 廃液収集タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液収集タンク ～ 廃液収集ポンプ	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液収集ポンプ ～ 廃液収集ポンプ吐出管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし 撤去	－	－	－	－
				サージタンクA ～ サージポンプA	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				サージポンプA ～ 廃液収集ポンプ吐出管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				サージタンクB ～ サージポンプB	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				サージポンプB ～ 床ドレン収集ポンプ吐出管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (7/30)

			変 更 前				変 更 後					
設備 区分	系統 名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	液体廃棄物処理系	機器ドレン処理系	主配管	廃液脱塩器入口管 ～ 廃液脱塩器	B－1	クラス3	—	撤去			—	—
								変更なし				
				廃液脱塩器入口合流点 ～ 床ドレン収集ポンプ吐出管合流点	B－1	クラス3	—	撤去			—	—
								変更なし				
				廃液脱塩器 ～ 廃液サンプルタンク	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—
				廃液サンプルタンク ～ 廃液サンプルポンプ	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—
				廃液サンプルポンプ ～ 放射性廃棄物処理系配管取合点（補給水系）	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—
				凝縮水収集タンク ～ 凝縮水収集ポンプ	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—
				凝縮水収集ポンプ ～ 廃液収集ポンプ吐出管合流点	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—
				凝集装置供給タンク ～ 凝集装置供給ポンプ	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—
				凝集装置供給ポンプ ～ 凝集沈澱装置	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—
				凝集沈澱装置 ～ 廃液収集タンク	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (8/30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	液体廃棄物処理系	機器ドレン処理系	主配管	廃液収集ポンプ吐出管合流点 ～ 電磁ろ過器供給タンク入口管	B－1	クラス3	—	撤去			—	—
				電磁ろ過器供給タンク入口管分岐点 ～ 廃液フィルタB入口管	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—
				廃棄物処理建屋機器ドレン サンプポンプA ～ 電磁ろ過器供給タンク	B－1	クラス3	—	撤去			—	—
				廃棄物処理建屋機器ドレン サンプポンプB ～ 廃棄物処理建屋機器ドレン サンプポンプA出口管合流点	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—
				弁NR24-F007A ～ 電磁ろ過器供給タンク	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—
				弁NR24-F007B ～ 使用済樹脂貯蔵タンクB デカント水出口管合流点	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—
				電磁ろ過器供給タンク ～ 機器ドレン樹脂分離器A	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—
				機器ドレン樹脂分離器A ～ 電磁ろ過器A	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—
				電磁ろ過器供給タンク出口管 分岐点 ～ 機器ドレン樹脂分離器B	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—
				機器ドレン樹脂分離器B ～ 電磁ろ過器B	B－1	クラス3	—	変更なし			—	—

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (9／30)

				変 更 前				変 更 後					
設備区分		系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
					耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は 固体廃棄物 処理設備	液体廃棄物 処理系	機器ドレン 処理系	主配管	電磁ろ過器A ～ 超ろ過器供給タンク	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
				電磁ろ過器B ～ 電磁ろ過器A出口管合流点	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
				超ろ過器供給タンク ～ 超ろ過器A	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
				超ろ過器供給ポンプA入口管分岐点 ～ 超ろ過器B	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
				超ろ過器供給ポンプA入口管分岐点 ～ 超ろ過器C	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
				超ろ過器供給ポンプA入口管分岐点 ～ 超ろ過器D	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
				超ろ過器供給ポンプD入口管分岐点 ～ 超ろ過器E	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
				超ろ過器供給ポンプE入口管分岐点 ～ 超ろ過器F	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
				超ろ過器A ～ 超ろ過器供給タンク	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
				超ろ過器B ～ 超ろ過器供給タンク	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (10／30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	液体廃棄物処理系	機器ドレン処理系	主配管	超ろ過器C ～ 超ろ過器供給タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				超ろ過器D ～ 超ろ過器供給タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				超ろ過器E ～ 超ろ過器供給タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				超ろ過器F ～ 超ろ過器供給タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				超ろ過器A ～ 超ろ過器出口集合管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				超ろ過器B ～ 超ろ過器出口集合管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				超ろ過器C ～ 超ろ過器出口集合管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				超ろ過器D ～ 超ろ過器出口集合管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				超ろ過器E ～ 超ろ過器出口集合管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				超ろ過器F ～ 超ろ過器出口集合管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				超ろ過器出口集合管 ～ 機器ドレン処理水タンクA	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				弁NR21-F021 ～ 機器ドレン処理水タンクB	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (11／30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	液体廃棄物処理系	機器ドレン処理系	主配管	機器ドレン処理水タンクA ～ 廃液脱塩器入口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし			－	－
								撤去				
				廃液フィルタB出口管 ～ 機器ドレン処理水ポンプ 出口管合流点	B－1	クラス3	－	撤去			－	－
				機器ドレン処理水タンクB ～ 機器ドレン処理水タンクA 出口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし			－	－
				機器ドレン樹脂分離器A ～ 使用済樹脂貯蔵タンクB	B－1	クラス3	－	変更なし			－	－
				機器ドレン樹脂分離器B ～ 機器ドレン樹脂分離器A 出口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし			－	－
				使用済樹脂貯蔵タンクB 入口管分岐点 ～ 使用済樹脂貯蔵タンクC (機器ドレン樹脂分離器側)	B－1	クラス3	－	変更なし			－	－
				電磁ろ過器A入口管分岐点 ～ クラッドスラリタンクA	B－1	クラス3	－	変更なし			－	－
				電磁ろ過器B入口管分岐点 ～ クラッドスラリタンクA 入口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし			－	－
				クラッドスラリタンクA 入口管分岐点 ～ クラッドスラリタンクB (電磁ろ過器側)	B－1	クラス3	－	変更なし			－	－
				超ろ過器供給タンク出口管分岐点 ～ クラッドスラリタンクA 入口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし			－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (12／30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	液体廃棄物処理系	機器ドレン処理系	主配管	超ろ過器供給ポンプA入口管分岐点 ～ 電磁ろ過器A入口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				電磁ろ過器循環供給ポンプ 出口管分岐点 ～ 電磁ろ過器B入口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				クラッドスラリタンクA ～ クラッドスラリ上澄水受タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				クラッドスラリタンクB ～ クラッドスラリタンクA 出口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				クラッドスラリ上澄水受タンク ～ クラッドスラリ濃縮器加熱器	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				クラッドスラリ濃縮器加熱器 ～ クラッドスラリ濃縮器	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				クラッドスラリ濃縮器 ～ クラッドスラリ濃縮器デミスタ	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				クラッドスラリ濃縮器デミスタ ～ クラッドスラリ濃縮器復水器	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				クラッドスラリ濃縮器復水器 ～ 機器ドレン処理水タンクA 入口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				クラッドスラリ濃縮器 ～ クラッドスラリ濃縮器循環 ポンプ入口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (13／30)

		変 更 前				変 更 後						
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は 固体廃棄物 処理設備	液体廃棄物 処理系	機器ドレン 処理系	主配管	クラッドスラリ濃縮器 循環ポンプ入口管分岐点 ～ クラッドスラリタンクA	B－1	クラス3	－	変更なし			－	－
				クラッドスラリタンクA 入口管分岐点 ～ クラッドスラリタンクB (クラッドスラリ濃縮器側)	B－1	クラス3	－	変更なし			－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (14／30)

			変 更 前					変 更 後				
設備 区分	系統 名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は 固体廃棄物 処理設備	液体廃棄物 処理系	ポンプ	廃棄物処理棟床ドレンサンプポンプ	B－1	Non	－		変更なし			－	－
			床ドレンフィルタ保持ポンプ	B	Non	－		撤去			－	－
		容器	床ドレン収集タンク	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
			床ドレンサンプルタンク	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
		貯蔵槽	－					格納容器床ドレンサンプ	S	－	－	－
		ろ過装置	床ドレンフィルタ	B	クラス3	－		撤去			－	－
		主要弁	G13-F129	S	クラス2	－		変更なし			－	－
			G13-F130	S	クラス2	－		変更なし			－	－
		主配管	－					格納容器床ドレンサンプ導入管	B-1	クラス3	－	－
			格納容器床ドレンサンプスリット ～ 格納容器床ドレン配管分岐点	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
			格納容器床ドレン配管分岐点 ～ 原子炉格納容器	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
			原子炉格納容器 ～ 弁G13-F129	S	クラス2	－		変更なし			－	－
			弁G13-F129 ～ 原子炉棟床ドレンサンプ	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
			原子炉棟床ドレンサンプポンプ ～ 床ドレン収集タンク	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
			タービン建屋床ドレンサンプポンプ ～ 床ドレン収集タンク	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (15／30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
気体，液体又は固体廃棄物処理設備	液体廃棄物処理系	床ドレン処理系	主配管	廃棄物処理棟床ドレンサンプポンプ～床ドレン収集タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				床ドレン収集タンク～床ドレン収集ポンプ	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				床ドレン収集ポンプ～床ドレン収集ポンプ吐出管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
								撤去				
				床ドレン収集ポンプ吐出管分岐点～廃液収集ポンプ吐出管合流点	B－1	クラス3	－	撤去	－	－	－	－
				床ドレン収集ポンプ吐出管合流点～床ドレンサンプルタンク	B－1	クラス3	－	撤去	－	－	－	－
								変更なし				
				床ドレンサンプルタンク～床ドレンサンプルポンプ	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				床ドレンサンプルポンプ～廃液中和タンク入口管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				床ドレンサンプルポンプ出口分岐管（床ドレン収集タンク戻り）～床ドレン収集タンク入口管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃棄物処理建屋床ドレンサンプポンプA～床ドレン収集タンク入口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃棄物処理建屋床ドレンサンプポンプB～廃棄物処理建屋床ドレンサンプポンプA出口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (16／30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	液体廃棄物処理系	再生廃液処理系	熱交換器	廃液濃縮器加熱器	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
			容器	廃液中和タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃棄物処理建屋高電導度ドレンサンプタンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
			ろ過装置	廃液濃縮器	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
			主配管	廃棄物処理建屋 高電導度ドレンサンプポンプA ～ 廃液中和タンク入口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃棄物処理建屋 高電導度ドレンサンプポンプB ～ 廃棄物処理建屋 高電導度ドレンサンプポンプA 出口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃棄物処理棟 高電導度ドレンサンプポンプ ～ 廃液中和タンク入口管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液中和タンク入口管 ～ 廃液中和タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液中和タンク ～ 廃液濃縮器供給ポンプ	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液濃縮器供給ポンプ ～ 弁 G13-F1612A, B	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				弁 G13-F1612A ～ 廃液濃縮器循環ポンプA吸込管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				弁 G13-F1612B ～ 廃液濃縮器循環ポンプB吸込管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (17／30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	液体廃棄物処理系	再生廃液処理系	主配管	廃液濃縮器 A ～ 廃液濃縮器循環ポンプ A	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液濃縮器 B ～ 廃液濃縮器循環ポンプ B	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液濃縮器循環ポンプ A ～ 廃液濃縮器加熱器 A	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液濃縮器循環ポンプ B ～ 廃液濃縮器加熱器 B	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液濃縮器加熱器 A ～ 廃液濃縮器 A	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液濃縮器加熱器 B ～ 廃液濃縮器 B	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液濃縮器 A ～ 廃液濃縮器復水器 A	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液濃縮器 B ～ 廃液濃縮器復水器 B	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液濃縮器復水器 A ～ 凝縮水収集タンク	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液濃縮器復水器 B ～ 凝縮水収集タンク	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－
				廃液濃縮器循環ポンプ ～ 濃縮廃液貯蔵タンクヘッダ	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－
				濃縮廃液貯蔵タンクヘッダ ～ 濃縮廃液貯蔵タンク	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (18／30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	固体廃棄物処理系	熱交換器	蒸気加熱器	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	
			タンクベント冷却器	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	
		ポンプ	廃液中和スラッジ受ポンプ	B	Non	－		撤去	－		－	
			ミキサー洗浄ポンプ	B	Non	－		撤去	－		－	
		容器	廃液フィルタ逆洗水受タンク	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	
			床ドレンフィルタ逆洗水受タンク	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	
			原子炉冷却材浄化系 フィルタ脱塩器逆洗水受タンク	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	
			廃液スラッジ貯蔵タンク	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	
			床ドレンスラッジ貯蔵タンク	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	
			濃縮廃液貯蔵タンク	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	
			使用済樹脂貯蔵タンク	B－1	クラス3	－		変更なし	－		－	
			廃液中和スラッジ受タンク	B	クラス3	－		撤去	－		－	
			濃縮廃液計量タンク	B	クラス3	－		撤去	－		－	
			ミキサー洗浄タンク B	B	クラス3	－		撤去	－		－	
			バッチタンク	B	クラス3	－		撤去	－		－	

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (19／30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	固体廃棄物処理系	容器	スラッジ計量ホッパー	B	クラス 3	—		撤去	—		—	
			チャージホッパー	B	クラス 3	—		撤去	—		—	
			苛性溶液タンク	C	クラス 3	—		撤去	—		—	
			セメントサイロ	C	クラス 3	—		撤去	—		—	
			セメント計量ホッパー	C	クラス 3	—		撤去	—		—	
		主配管	廃液フィルタ逆洗水受タンク ～ 廃液フィルタ逆洗水ポンプ	B－1	クラス 3	—		変更なし	—		—	
			廃液フィルタ逆洗水ポンプ ～ 廃液スラッジ貯蔵タンク入口管	B－1	クラス 3	—		変更なし	—		—	
			廃液スラッジ貯蔵タンク入口管 ～ 廃液スラッジ貯蔵タンク	B－1	クラス 3	—		変更なし	—		—	
			床ドレンフィルタ逆洗水受タンク ～ 床ドレンフィルタ逆洗水ポンプ	B－1	クラス 3	—		変更なし	—		—	
			床ドレンフィルタ逆洗水ポンプ ～ 床ドレンスラッジ貯蔵タンク	B－1	クラス 3	—		変更なし	—		—	
			原子炉冷却材浄化系 フィルタ脱塩器逆洗水受タンク ～ 原子炉冷却材浄化系 フィルタ脱塩器逆洗水移送ポンプ	B－1	クラス 3	—		変更なし	—		—	
			原子炉冷却材浄化系 フィルタ脱塩器逆洗水移送ポンプ ～ 燃料プール冷却浄化系フィルタ脱塩 器逆洗水移送配管合流点	B－1	クラス 3	—		変更なし	—		—	
			燃料プール冷却浄化系フィルタ脱塩 器逆洗水移送配管合流点 ～ 使用済粉末樹脂貯蔵タンク入口管	B－1	クラス 3	—		変更なし	—		—	

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (20／30)

			変 更 前				変 更 後						
設備 区分	系統 名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス	
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	固体廃棄物処理系	固体廃棄物処理系	主配管	フィルタ脱塩器逆洗水受タンク ～ フィルタ脱塩器逆洗水移送ポンプ	B－1	クラス3	—		変更なし			—	—
				フィルタ脱塩器逆洗水移送ポンプ ～ 原子炉冷却材浄化系フィルタ脱塩器 逆洗水移送配管合流点	B－1	クラス3	—		変更なし			—	—
				使用済粉末樹脂貯蔵タンク入口管 ～ 使用済粉末樹脂貯蔵タンク	B－1	クラス3	—		変更なし			—	—
				使用済樹脂貯蔵タンク ～ 使用済樹脂ポンプ	B－1	クラス3	—		変更なし			—	—
				廃液スラッジ貯蔵タンク ～ 廃液スラッジポンプ	B－1	クラス3	—		変更なし			—	—
				床ドレンスラッジ貯蔵タンク ～ 床ドレンスラッジポンプ	B－1	クラス3	—		変更なし			—	—
				使用済粉末樹脂貯蔵タンク ～ 使用済粉末樹脂ポンプ	B－1	クラス3	—		変更なし			—	—
				使用済樹脂ポンプ ～ 廃液スラッジ貯蔵タンク入口管 合流点	B－1	クラス3	—		変更なし			—	—
				撤去									
廃液スラッジポンプ ～ 使用済樹脂ポンプ吐出管合流点	B－1	クラス3	—		変更なし			—	—				

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (21／30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	固体廃棄物処理系	固体廃棄物処理系	主配管	床ドレンスラッジポンプ～使用済樹脂ポンプ吐出管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				使用済粉末樹脂ポンプ～使用済粉末樹脂貯蔵タンク入口管合流点	B－1	クラス3	－	撤去	－	－	－	－
								変更なし	－	－	－	－
				濃縮廃液貯蔵タンク～濃縮廃液ポンプ	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				濃縮廃液ポンプ～濃縮廃液ポンプ出口管分岐部	B－1	クラス3	－	変更なし	－	撤去	－	－
								撤去				
				濃縮廃液計量タンク～アウトドラムミキサー	B－1	クラス3	－	撤去	－	－	－	－
			減容・固化設備に係る焼却装置，熔融装置，圧縮装置，アスファルト固化装置，セメント固化装置，ガラス固化装置又はプラスチック固化装置に係る主要機器のうち(1)から(13)までに掲げるもの以外の主要機器	減容機	B－1	－	－	変更なし	－	－	－	－
				遠心分離機	B	－	－	撤去	－	－	－	－
				スラッジコンベヤー	B	－	－	撤去	－	－	－	－
				アウトドラムミキサー	B	－	－	撤去	－	－	－	－
				セメントコンベヤー	C	－	－	撤去	－	－	－	－
				ドラムコンベヤー	C	－	－	撤去	－	－	－	－
				ミキサー洗浄タンクA	B	－	－	撤去	－	－	－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (22／30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	固体廃棄物処理系	使用済樹脂移送系	主配管	既設使用済樹脂貯蔵タンク 入口管分岐点 ～ 使用済樹脂貯蔵タンク B	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－
				使用済樹脂貯蔵タンク B 入口管分岐点 ～ 使用済樹脂貯蔵タンク C	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－
				使用済樹脂貯蔵タンク B ～ 弁 NR24-F007A	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－
				使用済樹脂貯蔵タンク C ～ 弁 NR24-F007B	B－1	クラス 3	－	変更なし	－	－	－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (23／30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	固体廃棄物処理系	濃縮廃液減容固化系	主配管	濃縮廃液ポンプ出口管分岐部 ～ 濃縮廃液受タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				濃縮廃液受タンク ～ 減容固化系移送ポンプ A	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系移送ポンプ A ～ 減容固化系供給タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				濃縮廃液受タンク出口管分岐点 ～ 減容固化系移送ポンプ B	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系移送ポンプ B ～ 減容固化系移送ポンプ A 出口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系供給タンク ～ 減容固化系乾燥機	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系供給タンク出口管分岐点 ～ 減容固化系循環ポンプ A	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系循環ポンプ A ～ 減容固化系供給タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系循環ポンプ A 入口管分岐点 ～ 減容固化系循環ポンプ B	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系循環ポンプ B ～ 減容固化系循環ポンプ A 出口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系乾燥機 ～ 減容固化系ミストセパレータ	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系ミストセパレータ ～ 減容固化系デミスタ	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (24／30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	固体廃棄物処理系	濃縮廃液減容固化系	主配管	減容固化系デミスタ ～ 減容固化系乾燥機復水器	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系乾燥機復水器 ～ 減容固化系乾燥機排気ブロワ	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系乾燥機復水器 ～ 減容固化系ミストセパレータ	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系ミストセパレータ ～ 減容固化系溶解タンク入口集合管	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系溶解タンク入口集合管 ～ 減容固化系溶解タンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系溶解タンク ～ 廃棄物処理建屋 高電導度ドレンサンプポンプ 出口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系乾燥機 ～ 減容固化系水分計ホッパ	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (25／30)

				変 更 前			変 更 後					
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	固体廃棄物処理系	濃縮廃液減容固化系 主配管	減容固化系水分計ホッパ ～ 弁 NR23-F018	B－1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			減容固化系造粒機 ～ 減容固化系トロンメル	B－1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			減容固化系トロンメル ～ 減容固化系ペレットホッパ	B－1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			減容固化系ペレットホッパ ～ 減容固化系ペレット充填装置	B－1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			減容固化系造粒機 ～ 減容固化系粒子フィルタ	B－1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			減容固化系ペレットホッパ ～ 減容固化系粒子フィルタ 入口管合流点	B－1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			減容固化系トロンメル ～ 減容固化系ペレットホッパ 出口管合流点	B－1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			減容固化系粒子フィルタ ～ 減容固化系高性能粒子フィルタ	B－1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—
			減容固化系高性能粒子フィルタ ～ 減容固化系粒子ブロワ	B－1	クラス3	—	—	変更なし	—	—	—	—

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (26／30)

				変 更 前				変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	固体廃棄物処理系	濃縮廃液減容固化系	減容・固化設備に係る焼却装置，溶融装置，圧縮装置，アスファルト固化装置，セメント固化装置，ガラス固化装置又はプラスチック固化装置に係る主要機器のうち(1)から(13)までに掲げるもの以外の主要機器	減容固化系乾燥機	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				減容固化系ミストセパレータ	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (27／30)

			変 更 前					変 更 後					
設備区分		系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
					耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	固体廃棄物処理系	雑固体廃棄物焼却設備	容器	廃油タンク	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－
			主配管	廃油タンク ～ 廃油バーナ	B－1	クラス3	－		変更なし			－	－

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (28／30)

			変 更 前					変 更 後					
設備区分		系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
					耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は 固体廃棄物 処理設備	固体廃棄物 処理系	雑固体減容 処理設備	主配管	高周波溶融炉 ～ 溶融炉 2 次燃焼器	B－1	クラス 3	—		変更なし			—	—
				溶融炉 2 次燃焼器燃焼室 ～ 溶融炉 2 次燃焼器	B－1	クラス 3	—		変更なし			—	—
				溶融炉 2 次燃焼器 ～ 溶融炉排ガス冷却器	B－1	クラス 3	—		変更なし			—	—
				溶融炉排ガス冷却器 ～ 空気混合部	B－1	クラス 3	—		変更なし			—	—
				空気混合部 ～ 溶融炉セラミックフィルタ	B－1	クラス 3	—		変更なし			—	—
				溶融炉セラミックフィルタ ～ 溶融炉排ガスフィルタ	B－1	クラス 3	—		変更なし			—	—

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (29／30)

		変 更 前				変 更 後						
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は固体廃棄物処理設備	固体廃棄物処理系	サイトバンカプール水浄化系	ろ過装置	プール水脱塩器	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
			主配管	サイトバンカプール ～ スキマサージタンク	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				スキマサージタンク ～ プール水浄化フィルタ	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				スキマサージタンク出口管分岐点 ～ プール水浄化ポンプ A 出口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし				
				プール水浄化フィルタ ～ サイトバンカプール	B－1	クラス3	－	変更なし	－	－	－	－
				プール水浄化フィルタ出口管分岐点 ～ プール水脱塩器	B－1	クラス3	－	変更なし				
				プール水脱塩器 ～ プール水浄化フィルタ出口管合流点	B－1	クラス3	－	変更なし				

表1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト (30／30)

			変 更 前					変 更 後				
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス		耐震 重要度 分類	機器クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
気体， 液体又は 固体廃棄物 処理設備	その他	－	排気筒	主排気筒	C－1	－	－	変更なし			－	－
				非常用ガス処理系排気筒	S	－	－	変更なし			－	－

注記 *1：表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「5 原子炉本体の基本設計方針，適用基準及び適用規格」の「表1 原子炉本体の主要設備リスト 付表1」による。
*2：当該配管については，主配管に該当しないため，記載の適正化を行う。